



わたしが次の世代に伝えたいかまくら
「オタマジャクシを探す」(山崎にて)
撮影者：池 英夫さん

6月定例会開催 議会の役員を改選 一議長・副議長を選出

6月定例会の動き

- 7名の議員が一般質問を行う…2・3面
- 2件の意見書を提出……………3面
- 議会の新役員を決定……………4面
- 議長、副議長から就任のあいさつ…4面
- 旧市立平島保育園園舎の無償譲渡など
12件の議案を可決・同意……………4面

9月定例会は、9月8日(水)に開会予定です

請願・陳情の提出について

本市議会では、各定例会での請願・陳情の提出に、受付期限を設けています。
9月定例会の受付期限：9月7日(火)
 受付期限内に提出されたものは、9月定例会で審査されます。受付期限を過ぎて提出されたものは、原則として次回定例会での審査となります。
 なお、請願・陳情には、定まった様式があります。詳しくは議会事務局議事担当までご相談ください。

主な議案の議決結果

議案	議決結果	会派名						
		民政	共産	同志	公明	ネット	改革	無所属
工事請負契約の締結(市立腰越中学校体育館改築)	可決	○	○	○	○	○	○	○
財産(旧市立平島保育園園舎)の無償譲渡	可決	○	●	○	○	○	○	○
平成16年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
緊急地域雇用創出特別交付金事業の継続及び改善を求めることに関する意見書	可決	○	○	●	○	○	●	△
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	△

○賛成 ●反対 △一部反対

※各会派の所属議員は次のとおりです
 民政(民政クラブ)：和田猛美、中村聡一郎、澁谷廣美、古屋嘉廣、助川邦男、大村貞雄
 共産(日本共産党)：吉岡和江、小田嶋敏浩、児島 晃、赤松正博、清水辰男
 同志(鎌倉同志会)：伊東正博、白倉重治、嶋村速夫、野村修平
 公明(公明党)：福岡健二、藤田紀子、大石和久
 ネット(ネットワーク鎌倉)：前田陽子、三輪裕美子、森川千鶴
 改革(改革鎌倉)：伊藤玲子、松尾 崇
 無所属：千 一、高橋浩司、岡田和則、松中健治

議会広報委員会では、「かまくら議会だより」1面の写真を募集しています。
テーマは「わたしが次の世代に伝えたいかまくら」です。
 また、議会広報に対するご意見もお寄せください。詳しくは下記まで。
 (問い合わせ先) 〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号 議会事務局調査担当
 電話：0467(23)3000 内線2448
 メールアドレス：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

一般質問

6月定例会では7名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いました。ここではその一部を掲載しました。詳しくは9月上旬に発行予定の本会議録を図書館などでご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

伊東 正博	……○観光にかかわる政策課題について
岡田 和則	……○安全・安心まちづくりについて
伊藤 玲子	……○行財政改革の推進について○教育行政の諸問題について
小田嶋敏浩	……○地震災害対策について
三輪裕美子	……○子どもの権利○地域コミュニティを生かした少子高齢化対策○移動サービス
吉岡 和江	……○市長の政治姿勢を問う(①骨太の方針等に関連して(年金、三位一体等)②市民のくらし・福祉の充実について)
高橋 浩司	……○鎌倉市の財政状況について○行財政改革と債務縮減について

一般質問の紙面が変わります

一般質問の紙面については、平成14年8月1日号(第178号)から、一般質問を行った議員本人が質問・答弁をまとめ、それぞれの氏名を掲載する形式に改めました。その後、議会広報委員会において、今後の議会広報のあり方を検討する中で、一般質問の紙面については、それぞれの議会からいくつかの事項を取り上げ、それを編集して紙面とする、事項別形式に改めることとしました。なお、これに伴い、議員の氏名は掲載しないこととなります。ご理解をいただきますようお願いいたします。

安全で安心のまちへ

今後の取り組みをただす

本市では今年四月、昨今の犯罪の多発に対し、警察、自治町内会・市民・事業所及び行政の連携の下、安全で安心して暮らせるまちづくりのための企画、調整及び実施を目的とした、安全・安心まちづくり推進計画を策定しました。

質問：今年四月に設置された安全・安心まちづくり推進計画は、今後どのような考えで策を展開しようとしているのか、また、このように他の組織と連携し、犯罪抑止に向けて活動していくのか聞きたい。

部長：関係者が防犯に対する連携を強化し、それぞれの役割を担っていくことが犯罪抑止につながることを考えている。市として、市民が自らの安全を確保するために行う活動に対する支援、警察からの犯罪に関する情報収集、犯罪などの情報提供、犯罪の生じにくい社会環境整備など、あらゆる観点から取り組んでいきたい。

質問：地域住民が自主的に防犯マップ(※文末参照)づくりを取り組んでいくことが、市としてどのようにサポートしていくのか。

部長：防犯マップを作成する上で必要となるデータ及び作成方法などを、警察と連携し、各地域に情報提供するなどの支援体制を整えていきたい。

質問：(1)防犯マップづくりによる、子育て層に対して、子どもの権利を学ぶ機会を提供すべきではないか。

部長：子育て層に対する学ぶ機会の提供を重要と考えている。昨年度は、児童虐待の防止についての講座を二回開催した。今年度も三回実施する予定だ。今後も学ぶ機会を充実し、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに努めていきたい。

質問：子どもの権利を保障するために、子どもの代理人とも言うべきオンプズパトロール(※文末参照)の導入が、必要と考えるが、どうか。

部長：今年度、かまくら人権施策推進指針の運用と進捗状況の把握を目的とした、外部の人による委員会を設置する予定だ。そこで、子どもに限らず、人権に関するオンプズパトロールの制度について研究していきたい。

質問：市が、市民活動の業績や活動内容などをコメントした資料を貸主に提供すれば、市民グループの活動拠点確保に有効と考えるが、どうか。

部長：貸したいと思う人に対して、市民グループの情報提供はしていきたい。

質問：市の商店街活性化支援事業として、空き店舗の活用が計画されているが、対象を商店街に限らず、市民にも広げることができないか。

部長：コミュニティ施設の設置と商店街の活性化策の一つとして考えている。今後先進都市の事例などを踏まえ、利用者の拡大についても検討し、取り組んでいきたい。

質問：市が、市民活動の業績や活動内容などをコメントした資料を貸主に提供すれば、市民グループの活動拠点確保に有効と考えるが、どうか。

部長：貸したいと思う人に対して、市民グループの情報提供はしていきたい。

質問：市の商店街活性化支援事業として、空き店舗の活用が計画されているが、対象を商店街に限らず、市民にも広げることができないか。

部長：コミュニティ施設の設置と商店街の活性化策の一つとして考えている。今後先進都市の事例などを踏まえ、利用者の拡大についても検討し、取り組んでいきたい。

子どもの権利は、今

オンプズパトロール制度の導入を要望

平成元年国連総会で、児童の権利に関する条約(以下、条約)が採択され、平成6年には日本も批准した。この条約では、子どもがいかなる差別も受けることなく、権利が守られるよう、あらゆる措置を講ずることがうたわれている。しかしながら、平成15年度に全国の児童相談所取扱った児童虐待に関する相談件数が二万六千五百七十七件に上り、過去最悪であったことが厚生労働省のまとめで明らかなど、児童を取り巻く社会環境は厳しきものもあまです。

質問：条約批准後、どのような取り組みが行われてきたのか。

市長：条約批准後、どのような取り組みが行われてきたのか。

質問：児童虐待が増加する中、市としてどのような取り組みを行っているのか。

部長：児童虐待が増加する中、市としてどのような取り組みを行っているのか。

質問：児童虐待が増加する中、市としてどのような取り組みを行っているのか。

部長：児童虐待が増加する中、市としてどのような取り組みを行っているのか。

観光政策を問う

これからの観光とは

市は、新しい魅力を提供する創造的観光への転換を目指し、鎌倉市観光基本計画(以下、基本計画)を平成15年に策定しました。しかし、観光客数は二千万人を超えて、平成14年と比べ、昨年は七百八十八万人に減少しています。

質問：観光立国現に向けた戦略課題で、日本の魅力再認識を必要と指摘している。本市の場合どうか。

部長：日本の魅力再認識することは、まさに本市にも当てはまることだ。過去の武家政治の歴史を持つことを前面に打ち出し、観光を積極的に進めていく必要がある。

質問：本市の観光政策を見ると、今年が策定から九年目となる基本計画がある。基本理念は、

市長：現在の計画の良い点は残し、国の観光立国視覚を取り入れるなどして、見直し作業に取り組んでいきたい。

質問：少子高齢化を迎え、定住人口だけに依存するのではなく、当然ながら交流人口も経済的な対象に入れたいのではないか。現在の基本計画でも、観光による経済の活性化を図ることを明記している。行政として、観光は基幹産業との位置付けを明確に持つべきではないか。

部長：今後、人口減少が続いていくと考えれば、観光客という交流人口を有効に活用することは重要であり、観光を今後のまちづくりの基幹産業と捉えていくのではないかと認識している。

質問：観光を基幹産業と位置付け、観光政策を進めていく上で、すべての観光客の動向を

市長：今後の基本計画の見直しの中に、観光を基幹産業の一つと位置付けていく視点を導入していきたい。また、世界遺産登録に向けた課題も、観光都市鎌倉のブランド力を高めていきたい。

共に生き、支え合う

地域づくりに向けて

市では、「共に生き、支え合う地域づくり」を基本理念とした地域福祉計画を策定しました。この計画では、地域福祉推進の「主役」である地域住民の地域での取り組みや、市が支援がまるとされています。

質問：現在の計画の良い点は残し、国の観光立国視覚を取り入れるなどして、見直し作業に取り組んでいきたい。

質問：少子高齢化を迎え、定住人口だけに依存するのではなく、当然ながら交流人口も経済的な対象に入れたいのではないか。現在の基本計画でも、観光による経済の活性化を図ることを明記している。行政として、観光は基幹産業との位置付けを明確に持つべきではないか。

部長：今後、人口減少が続いていくと考えれば、観光客という交流人口を有効に活用することは重要であり、観光を今後のまちづくりの基幹産業と捉えていくのではないかと認識している。

質問：観光を基幹産業と位置付け、観光政策を進めていく上で、すべての観光客の動向を

市長：今後の基本計画の見直しの中に、観光を基幹産業の一つと位置付けていく視点を導入していきたい。また、世界遺産登録に向けた課題も、観光都市鎌倉のブランド力を高めていきたい。



他の自治体で導入されているパトロールカー

地震災害対策を問う

耐震補強工事助成を要望

今後他市の状況を調べるなど研究していきたい。

質問：市が、市民活動の業績や活動内容などをコメントした資料を貸主に提供すれば、市民グループの活動拠点確保に有効と考えるが、どうか。

部長：貸したいと思う人に対して、市民グループの情報提供はしていきたい。

質問：市の商店街活性化支援事業として、空き店舗の活用が計画されているが、対象を商店街に限らず、市民にも広げることができないか。

部長：コミュニティ施設の設置と商店街の活性化策の一つとして考えている。今後先進都市の事例などを踏まえ、利用者の拡大についても検討し、取り組んでいきたい。

質問：市が、市民活動の業績や活動内容などをコメントした資料を貸主に提供すれば、市民グループの活動拠点確保に有効と考えるが、どうか。

部長：貸したいと思う人に対して、市民グループの情報提供はしていきたい。

質問：市の商店街活性化支援事業として、空き店舗の活用が計画されているが、対象を商店街に限らず、市民にも広げることができないか。

部長：コミュニティ施設の設置と商店街の活性化策の一つとして考えている。今後先進都市の事例などを踏まえ、利用者の拡大についても検討し、取り組んでいきたい。

質問：市が、市民活動の業績や活動内容などをコメントした資料を貸主に提供すれば、市民グループの活動拠点確保に有効と考えるが、どうか。

部長：貸したいと思う人に対して、市民グループの情報提供はしていきたい。

質問：市の商店街活性化支援事業として、空き店舗の活用が計画されているが、対象を商店街に限らず、市民にも広げることができないか。

部長：コミュニティ施設の設置と商店街の活性化策の一つとして考えている。今後先進都市の事例などを踏まえ、利用者の拡大についても検討し、取り組んでいきたい。

学習状況調査の結果は

思考力、表現力に課題

神奈川県では、授業の理解度を把握することを目的として、県内から実施校を抽出し、学習状況調査を実施しています。従来は中学校でしたが、平成15年度から小学校でも実施。本市では本年二月に、県内で初めて、この調査を全市立小中学校で実施しました。二月定例会では、この調査に対して、賛成、反対それぞれの立場から質問が行われました。

質問：学習状況調査の結果を聞きたい。

教育長：今回の結果を見ると、県の正答率を多くの設問で上回っており、市の児童・生徒に犯罪種別をわかりやすく公表すべきだと考えるが、どうか。

部長：警察から提供を受けた地域ごとの犯罪発生種別や件数などを公表することは、地域の防犯意識の啓発に不可欠だ。今後、市のホームページで情報開示していきたいと考える。市として、その動向を踏まえ、市としても条例を制定していきたい。

質問：安全・安心まちづくり条例を制定し、犯罪の抑止に向けて動いていく必要があると考えるが、どうか。

部長：神奈川県は、本年度中の条例制定に向け取り組んでいる。その動向を踏まえ、市としても条例を制定していきたい。

質問：防犯マップ：地域における過去の犯罪発生状況を記入し、それを視覚的に捉えることができるようにした地図のこと。防犯マップをつくることで、犯罪が集中的に発生している箇所を把握し、効率的に防犯活動を行うことが可能になると言われている。

質問：防犯マップ：地域における過去の犯罪発生状況を記入し、それを視覚的に捉えることができるようにした地図のこと。防犯マップをつくることで、犯罪が集中的に発生している箇所を把握し、効率的に防犯活動を行うことが可能になると言われている。

質問：防犯マップ：地域における過去の犯罪発生状況を記入し、それを視覚的に捉えることができるようにした地図のこと。防犯マップをつくることで、犯罪が集中的に発生している箇所を把握し、効率的に防犯活動を行うことが可能になると言われている。

議会新役員決定

六月十七日の定例会最終日に議長・副議長の選挙が行われ、その結果、議長に大村貞雄議員（民政クラブ）、副議長に赤松正博議員（日本共産党）が選出されました。

本市議会では、議長・副議長など議会の各役員について、申し合わせにより、六月から一年の任期としています。昨年は、六月定例会で役員改選は行われず、九月定例会に行いましたが、本年は、五月二十四日の各派代表者会議で、六月定例会において議長・副議長を選出することにしました。

議長候補者には大村貞雄議員、副議長候補者には赤松正博議員が推薦されました。六月十四日に、「議長及び副議長候補者の所信を聞く会」が全員協議会室において開催されました。その後、児島晃議員、大村貞雄議員、赤松正博議員、伊東正博議員、無効票（白票）十三票、無効票（白票）十四票と選出されました。

【議長選挙の結果】	
大村貞雄議員	十六票
伊東正博議員	一票
無効票（白票）	十票
【副議長選挙の結果】	
赤松正博議員	十三票
無効票（白票）	十四票

が議長候補者を辞退しました。選挙の結果については次のとおりです。

議長あいさつ



大村 貞雄

市議会議員当選八回

議長、副議長、監査委員、総務常任委員長などを歴任（民政クラブ）

二階堂 六十六歳

議長の役割は、市議会の円滑な議会運営に努め、市の行政と議会と両輪という立場から、責任を持って対外的な活動にも参加していくことだと考えます。また、議員一人ひとりの役割と責任は大きいものがあり、それをまとめながら行政に対して、具体化の案を示すことも重要な役割です。さらに、対行政に関して、より市議会をグレートアップし、市民要望を行政に反映させることが、大きな議会の責任と役割です。今期の議員活動も一年足らずとなりましたが、来年の新しい体制につながる折り返し、節目と考え、取り組んで鎌倉市議会の歴史の中で明確な位置付けをしていきたいと思っております。厳しい昨今の情勢ではありますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副議長あいさつ



赤松 正博

市議会議員当選八回

副議長、監査委員、文教、建設常任委員長などを歴任（日本共産党）

長谷 五十八歳

地方自治体をめぐる昨今の動向は、地方財政をはじめ、地方行政組織のあり方、運営に至るまで地方自治制度そのものを揺るがすような急激な事態が進行しています。本市も行政課題が山積みしています。こういう中において、議会が主権者である市民の目線で行政をチェックし、議会自ら積極的に提言・提案をする、議会本来の役割の発揮が求められていると思えます。言論の府にふさわしい議会としての役割を存分に発揮して、自由闊達な議論を通じて、市民の負託にこたえられる議会を目指し、民主的な議会運営に努力を重ねる決意であります。今後とも皆様方のご指導・ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

12議案を可決・同意

物件供給契約議案は撤回

今定例会では、市長から十三件の議案が提出されました。このうち、高規格救急自動車の購入に係る物件供給契約の締結議案については、市として、さらに検討・整理する点が認められると判断したことにより撤回したいとの申し出があり、議会もこれを承認しました（※議案の撤回については文末参照）。

議案では、撤回された議案を除く十二件について審議した結果、財産の無償譲渡については多数の賛成により、その他については総員の賛成により可決・同意しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

《条例の一部改正》

◎鎌倉市消防団員等公務災害補償条例

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が一部改正されたことを受け、次のような場合にも損害補償を受けられるよう規定の整備を行うものです。①災害現場付近の者が、豪雨、山崩れなどの火災以外の災害において、消防対象物の関係者などから災害の防止・人命救助の協力要請を受けて、これに協力したことにより被災した場合。②火災現場付近の者が、都道府県が設置する航空消防隊の職員の求めに応じ、消防作業に従事したことにより被災した場合。

《補正予算》

◎一般会計

補正の内容は、歳入歳出いずれも八千二十万円を追加するもので、補正後の総額は五百八十六億六千二百万円になります。歳出の内容は次のとおりです。土木費：市役所前交差点用地の取得に要する経費及び緑地保全基金積立金の追加。

《その他》

◎町区域の変更

北鎌倉台土地区画整理事業第二工区の換地処分に伴い、同工区の町名である「大船」を「高野」に変更するものです。

◎工事請負契約の締結

市立腰越中学校体育館改築工事について、坪井工業株式会社と契約金額を一億七千四百九十三万八千九百二十五円です。工事の竣工期限は、平成十七年二月です。

◎不動産の取得

鎌倉市学校建設公社が建設した市立御成小学校校舎及び体育館のうち、校舎一棟の一部及びびコンコースモールの一部を取得するもので、取得価格は二億六千二百九十九万三千円です。

◎財産の無償譲渡

平成十三年四月から社会福祉法人岩瀬保育園に無償貸与してきた旧市立平島保育園の建物な

るの廃止「市道路線の認定」の廃止「市道路線の認定」

「緑地管理に起因する事故による市の義務に属する損害賠償額の決定」永福寺跡発掘調査に起因する事故による市の義務に属する損害賠償額の決定を、可決しました。

※議案の撤回：議会に提出された議案を、当初から提出しなかったのと同様の状態にすること。撤回しようとする場合は、議会の承認が必要です。

常任委員会等の新たな委員構成

委員会名	委員 (◎委員長 ○副委員長)
総務常任委員会	◎小田嶋敏浩 ○森川千鶴 白倉重治 古屋嘉廣 福岡健二 清水辰男 伊藤 玲子
文教常任委員会	◎伊東正博 ○三輪裕美子 高橋浩司 澁谷廣美 大村貞雄 松中健治 児島 晃
観光厚生常任委員会	◎野村修平 ○松尾崇 千藤田一 吉岡和江 藤田紀子 前田陽子 中村聡一郎
建設常任委員会	◎和田猛美 ○岡田和則 大石和久 助川邦男 赤松正博 嶋村 速夫
議会運営委員会	◎澁谷廣美 ○吉岡和江 大石和久 松尾嘉廣 中村聡一郎 古屋修平 小田嶋敏浩 野村 修平 三輪裕美子 伊東 正博
議会広報委員会	◎松尾崇 ○三輪裕美子 大石和久 中村聡一郎 小田嶋敏浩 嶋村 速夫 伊東 正博

編集後記

子どもたちが待ちに待った夏休み！受験などに向け、勝負の夏休みを送る子どももいるでしょう。ぜひ何かをやり切ったと言える夏休みにしていただきたく願います。そのためにも、家族や周囲の大人の役割も大変大きいのではないかと思います。ステイの語源は「引き出す・導き出す」という意味のラテン語に由来するそうです。



旧市立平島保育園園舎

「緑地管理に起因する事故による市の義務に属する損害賠償額の決定」永福寺跡発掘調査に起因する事故による市の義務に属する損害賠償額の決定を、可決しました。議案の撤回：議会に提出された議案を、当初から提出しなかったのと同様の状態にすること。撤回しようとする場合は、議会の承認が必要です。

議会広報委員会 (K・O)